

ご寄付のお申込み方法

千葉大みらい医療基金の指定する払込取扱票に必要事項（お名前 / ご住所 / お電話番号又はメールアドレス / 支援先に「新型コロナウイルス感染症治療薬の研究開発プロジェクト（FLVOCCO）」をご記入し、お近くの金融機関でお振込み手続きをお願いいたします。（追加の払込取扱票をご希望の方はお気軽にお問い合わせください。）
クレジットカードのお申込みでは一定額を継続的に寄付出来る仕組みもございます。

クレジットカードの
お申込みはこちらから→



顕彰制度

感謝の気持ちを込めて、寄付金額に応じて新医学部棟（治療学研究棟）4F ラウンジにて、ご芳名を刻印した銘板の掲示や記念品の贈呈をさせていただきます。

謝意	個人	法人
クリスタル表彰プレート	100万円～	500万円～
銘板（大）の掲示	100万円～	500万円～
銘板（中）の掲示	50万円～	200万円～
銘板（小）の掲示	10万円～	50万円～
オリジナルペーパーウェイト	3万円～	10万円～
お名前を HP へ掲載	希望者全員	希望者全員



新医学部棟 4F ラウンジに設置する寄付者顕彰銘板

皆様のお名前を刻み、永久に保存します。



ペーパーウェイト

千葉医学のロゴがデスクを飾ります。



クリスタル表彰プレート

皆様のお名前を刻印し、私たちがお贈りいたします。



新型コロナウイルス感染症治療薬の研究開発プロジェクト（FLVOCCO）

～既存薬フルボキサミンの再開発による重症化予防を目指して～

ご寄付のお願い

税法上の優遇措置

個人のご寄付

寄付金控所制度を利用して、寄付金額から 2,000 円を差し引いた額で、所得控所を受ける事ができます（控除の対象となる寄付金額は総所得金額の 40%が上限）。詳細は本基金ホームページをご確認ください。

※寄付金額収書はおおよそ 1 ヶ月以内にお送り致します。

※12 月中のお申込みの場合は翌年の領収日になってしまう可能性がございますので年内の領収日をご希望の場合は一度ご相談下さい。

法人のご寄付

法人様のご寄付はその金額を損金に算入可能です。損金算入の方法として、「特定公益増進法人に対する寄付金」があります。この制度を利用することで寄付金の損金算入限度額にかかわらず、全額損金算入することができます。

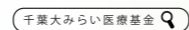
ご不明な点がございましたら、基金室までお気軽にお問い合わせください。



千葉大みらい医療基金
～国民の安心・安全な未来を目指して～
千葉大学大学院医学研究院・医学部

☎ 043-226-2286

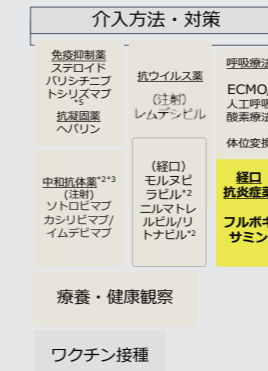
260-0856 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

<https://www.mirai-fund.chiba-u.jp> 



1, 本研究の基本構想

COVID-19は重症化だけでなく、病床逼迫という医療資源への影響も非常に強く、早期の段階で重症化を積極的に予防することが重要です。今後の感染拡大の予測が難しいため、将来に備えて自宅療養でも使いやすい重症化予防薬を開発する必要があります。

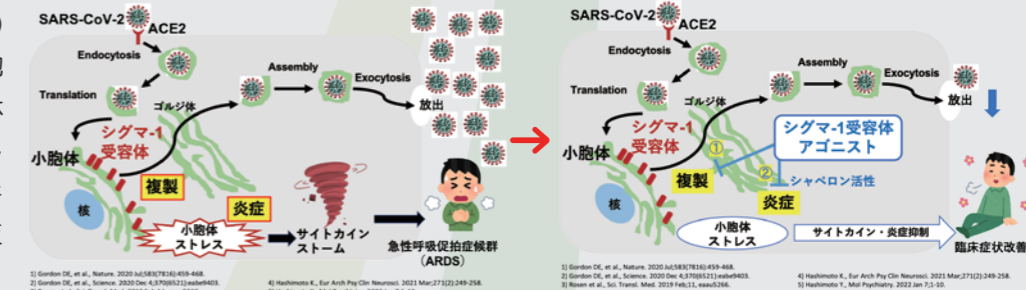


フルボキサミンで COVID-19 に打ち克つ!

目標金額 1000 万円

2, フルボキサミンがウイルスの複製と炎症を抑える

新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) の複製と炎症反応には、細胞内の小胞体タンパクである「シグマ-1 受容体 (S1R)」がヒト側の因子として機能します。S1R アゴニストであるフルボキサミンによりウイルスの複製と炎症反応を抑制すると考えられます。



ごあいさつ

私たちは、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) による重症化予防治療薬の開発を目指し、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) から令和 4 年度に期間が定められた研究費をいただきながら、研究開発として医師主導治験をすすめてまいりました。本治験は、既存の抗うつ薬であるフルボキサミンを、新型コロナウイルス感染症の新たな抗炎症作用薬として開発するもので、既存薬再開発 (ドラッグ・リポジショニング) という手法での開発となります。この手法は、治療薬の社会実装が比較的短期間で可能となるメリットがございます。本治験の愛称は、Fluvoxamine overcomes COVID-19 (フルボキサミンで COVID-19 に打ち克つ) という願いを込めて、FLVOCCO (フルボッコ) といたしました。

千葉大学病院は、千葉県内の新型コロナウイルス感染症重症患者に対する診療の最後の砦としての使命を果たすとともに、新薬の研究開発を推進してまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症は第 7 波、第 8 波と感染者の急増を繰り返し、その度に当院の感染症専用病床や ICU 病床がひっ迫し、通常医療の提供や研究活動にも支障をきたす状況も繰り返してきました。さらに近年の医薬品供給の不安定化や物流制限などの影響から、治験薬やプラセボ薬の製造や確保に大幅に時間を要してきました。その結果、本治験は当初の研究費の助成が決定していた研究期間内に研究を進めることができず、研究費が不足する事態となりました。

本治療薬を国民の皆さまにお届けするために一早く研究を進めたく、この度は皆さまからのご支援を賜りたく寄付公募を開始いたしました。新しい未来の医療と安心安全なポストコロナ社会の実現のために、皆さまのご意志によるご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



研究開発代表者
千葉大学大学院医学研究院・精神医学・准教授
新津 富央 (いづとみひさ)



治験責任医師
千葉大学医学部附属病院・感染制御部・教授
猪狩 英俊 (いがりひでとし)

3, 既存薬及び開発中の競合薬に対する明確な差別化・優位性

フルボキサミンの特徴は変異種に共通する S1R への作用などです。つまり、今後新たに出現する可能性がある変異種にも有効性が期待されます。抗不安・抗うつ作用などの神経保護作用もあり、COVID-19 による後遺症の緩和効果も期待できます。

注目点	既存薬・競合薬	フルボキサミン	差別化・優位性
作用機序	抗ウイルス薬 中和抗体薬 免疫抑制・調整薬	シグマ-1受容体を起点とする「抗炎症作用薬」	軽症な感染初期のウイルス応答期から使用できる
変異種への対応	変異種には効果が減弱しやすい	SARS-CoV-1とSARS-CoV-2に共通する機能的宿主依存性因子シグマ-1受容体への作用 ⁽²⁾	新たな変異種・新たなSARS-CoV種に対しても有効性が期待できる
その他の薬理作用	重症化抑制のみ	神経伸長作用 認知機能障害改善 抗不安・抗うつ作用	Long COVIDや精神神経系の症状緩和が期待できる ^(3,4)
投与経路	注射薬が多い	経口薬	自宅療養者以外来で処方できる
薬価	高額	現状では150mg≒150円と安価	医療経済的負担を抑制できる
安全性情報	新薬では不足	既存薬のため副作用情報あり	外来患者へ安全に使用できる

お問い合わせ先

ご寄付のご質問等、お気軽にご連絡下さい。



千葉大みらい医療基金
～国民の安心・安全な未来を目指して～
千葉大学大学院医学研究院・医学部

☎ 043-226-2286

260-0856 千葉県千葉市中央区玄鼻 1-8-1

https://www.mirai-fund.chiba-u.jp 千葉大みらい医療基金

詳細はこちらから▶

